

福岡県医発第443号(総)

平成16年 5月28日



各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会
会長 竹嶋 康 弘



平成16年度「日本対がん協会賞」「朝日がん大賞」の
候補者推薦について(お願い)

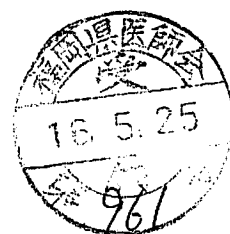
標記につきまして、別紙のとおり日本医師会長より推薦方依頼がありました。
推薦基準をご参照の上、該当される個人(団体)がありましたら来る 6月11日(金)までに本会宛ご推薦下さいますようお願い申し上げます。



平成 16 年 5 月 24 日

日本医師会
会長 植松 治雄

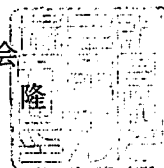
1. 対がん協会よりの依頼文書（写）
2. 推薦書（3枚1セット）
3. 推薦の手引き
4. 過去の受賞者一覧



日本医師会長
植松治雄様

日がん発第 16021 号
2004(平成 16). 5.20

財団法人 日本対がん協会
会長 杉村 隆



平成 16 年度「日本対がん協会賞」と
「朝日がん大賞」候補推薦のお願い

拝啓 初夏の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日本対がん協会は毎年、がん征圧活動に功績のあった方々に「日本対がん協会賞」を贈ってその業績を称えてきました。これまで 36 回の歴史を重ね、受賞者は 157 人・101 団体になります。また 21 世紀から朝日新聞社の協力を得て新設された「朝日がん大賞」は、第 1 回はマンモグラフィ検診導入に功績があった大内恵明・東北大学大学院教授、第 2 回は大腸がん検診の便潜血反応検査法開発の斎藤博・弘前大学助教授、第 3 回は前立腺がん検診方法の確立に貢献した渡辺決・明治鍼灸大学大学院教授と山中英壽・群馬大学大学院教授に贈られました。(肩書きは受賞時)

今年も両受賞者を、9 月 17 日に宇都宮市で開かれる「がん征圧全国大会」で表彰します。

つきましては、日本医師会から協会賞個人・団体各 1 候補をご推薦いただきたく、お願い申し上げます。

なお、朝日がん大賞についても、ふさわしい個人・グループ等がございましたら、ご推薦ください。ただし、同賞につきましては表彰が 1 件のうえ、大学、病院等を含め広く候補を募っておりますことをご承知おき下さい。

同封の推薦基準にありますように、従来からある日本対がん協会賞（複数）は、一次予防、二次予防を含め、がん征圧活動に永年の実績がある医師、保健師、看護師、その他一般の方々、団体、グループを対象にいたします。

朝日がん大賞（1 件）は対がん協会賞の特別賞とし、がん検診の分野を中心にしながらも対象分野を広げます。活動期間は問わず、将来性にも重点を置いて選考します。

協会賞には表彰状と記念品を、朝日がん大賞には表彰盾と副賞 100 万円を贈呈します。

三賞とも、各界からの推薦を踏まえ、「日本対がん協会賞選考委員会」（委員長・杉村隆 日本対がん協会会長）で選考し、9 月に発表します。

勝手ながら、締め切りは、6 月 28 日（月）とさせていただきます。都道府県医師会への配布分も含め、下記の書類をお届けしますので、よろしくお願いいたします。推薦書とともに、推薦の参考になる資料がありましたら添付していただければ幸いです。

お問い合わせ等は、理事・事務局次長、村田敏吾が担当いたします。

敬具

◆同封した資料

1. 「日本対がん協会賞」「朝日がん大賞」推薦の手引き
2. 推薦書用紙（協会賞個人の部、団体の部、朝日がん大賞の 3 種類）
3. 過去の受賞者一覧

日本対がん協会賞 ・ 朝日がん大賞

推 薦 の 手 引 き

財団法人 日本対がん協会

◇ 日本対がん協会賞

【趣旨】

対がん活動に顕著な功績のあった個人及び団体を顕彰して、がん征圧運動の一層の高揚を図ることを目的とする。

対がん活動とは、広くがん征圧のための運動、事業、研究を指すが、とくに「予防活動」の第一線で顕著な功績を上げた個人（団体）や、多年にわたって地道な活動を続けた個人（団体）に光をあてたい。

【推薦基準】

- ①「多年」とは、おおむね 10 年以上をいう。
- ②適正ながん知識の普及や啓発に対する功績。
- ③精度の高い各種がん検診の普及や推進に対する功績。
- ④奉仕活動や募金活動に対する功績。
- ⑤がんの早期発見および治療に関する調査・研究・開発での功績。
- ⑥現職の協会関係者は、原則として対象としない。

◇ 朝日がん大賞

【趣旨】

日本対がん協会賞の特別賞として、21 世紀（平成 13 年）から新設した。

対象分野は「がん予防」全般とするが、活動期間は問わず、将来性のある人材や研究の発掘、医療機器類の研究・開発、患者・治癒者の活動やケアなどの分野も視界に入れて支援・育成して行くことを目的とする。

副賞（100 万円）が有効に使われるよう、「若手」「将来性」「育成」「支援」などをキーワードに選考する。

【推薦基準】

- ①活動期間は問わない。
- ②将来期待できるがんの予防法や研究を手掛けている個人および団体。
- ③検診法や検診機器で画期的な開発をしたり、挑戦している個人や団体。
- ④患者・治癒者の活動などでがん予防運動に顕著な貢献をしたり、育成したい個人や団体。
- ⑤現職の協会関係者は、原則として対象としない。

◇選考と表彰

- ①選考は、両賞とも「日本対がん協会賞選考委員会」で行なう。
- ②ともに年度賞とし、日本対がん協会賞は個人、団体各数件、朝日がん大賞は1件とする。
- ③表彰は、両賞とも毎年9月の「がん征圧全国大会」で行なう。
- ④日本対がん協会賞には、正賞（レリーフ）と副賞（記念品）
朝日がん大賞には、正賞（レリーフ）と副賞（100万円）を贈る。
- ⑤選考委員会の事務局は、日本対がん協会に置く。

＝2001（平成13）年4月決定

2004年度（平成16年度）日本対がん協会 朝日がん大賞 推薦書

推薦団体または推薦者

担当者（問い合わせ先）

候補の所属部門（候補が団体の場合は団体・グループ名）

肩書き・氏名（団体の場合は構成メンバー）・ふりがな

年齢（ことし9月1日現在）、生年月日

住所・連絡先など（団体の場合は代表者名も）

〒

電 話

推薦理由

推薦理由の元になる研究や実績

主な経歴（団体の場合は実績など）

受賞歴（年月・名称・受賞理由など）

2004年度(平成16年度) 日本対がん協会賞 《団体の部》 推薦書

推薦団体または推薦者	担当者(問い合わせ先)
------------	-------------

候補の団体名・ふりがな	代表者(役職名と氏名・ふりがな)		
候補の主たる事務所所在地 〒	電話		
代表者または事務局担当者などの連絡先・電話等			
組織・会員・メンバー構成などの概略(例; 県内〇分会、医師〇人、保健師〇人など)			がん征圧活動歴 年 月から
推薦理由			
推薦理由のもとになる活動・実績			
活動の歴史(経年的に)	受賞歴(年月・名称・受賞理由など)		

2004年度(平成16年度) 日本対がん協会賞〈個人の部〉推薦書

推薦団体または推薦者	担当者(問い合わせ先)
------------	-------------

候補の氏名・ふりがな	男 女	年 齢 (9月1日現在)	生年月日	がん関係への従事歴 年から 年 ヶ月
職 業 (勤務先・役職、所在地)	電 話			
現住所 〒			電 話	
推薦理由				
推薦理由のもとになる活動・実績				
主な経歴 (大学・医専などの卒業以降)			受賞歴 (年月・名称・受賞理由など)	